

かわせみ通信

発行：神奈川県自然環境保全センター
自然保護課

住所：神奈川県厚木市七沢657

TEL：046-248-6682

※野外施設の情報、ホームページでも紹介しています。

野外施設自然情報

自然環境保全センター 生き物 検索

自然環境保全センターの野外施設には、身近な自然を観察できる自然観察園(昭和57年オープン)と、樹木一つ一つをじっくり観察できる場の樹木観察園があります。樹木観察園は約50年前(旧林業試験場時代)に整備されました。野外施設では、それぞれの季節に、生き物同士の巧みなつながりや、植物や野鳥、虫たちの興味深い生命活動など、大自然の不思議な現象にふれることができます。

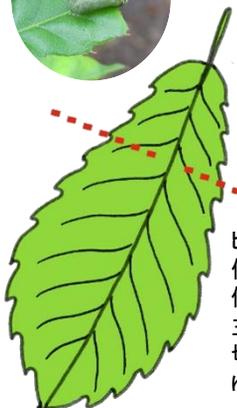
この「かわせみ通信」では、野外施設の出来事や生き物たちの様子を紹介しています。

●気になる生き物●

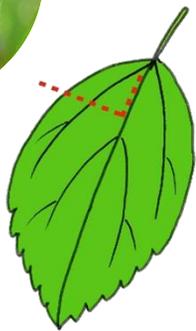
<オトシブミのゆりかご>

新緑が美しい5月上旬、やわらかい若葉を利用して次の世代を残す小さな生き物の姿がありました。オトシブミというゾウムシの仲間で、葉を巻く性質を持つ小さな昆虫です。巻いた葉が地面に落ちている様子が「落とし文」に似ていることが名前の由来ですが、もちろんこれは手紙ではありません。葉の中には卵が産みつけられていて幼虫は中で葉を食べて成長する、いわば「ゆりかご」なのです。

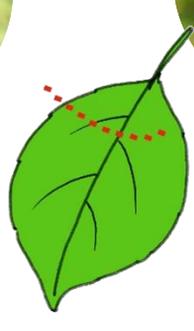
ゆりかご作りはオトシブミの種類によって木の種類や作り方が異なります。今年は園内で3種類のオトシブミの姿が観察できました。自分の体の何倍もある大きな葉を正確に折っている姿には頭が下がります。



ヒメクロオトシブミ
体長：4.5～5.5mm
使う木：コナラなど
主脈を残して両側に
切り込みをいれて
ゆりかごを作る



ヒメゴマダラオトシブミ
体長：6～7mm
使う木：エノキなど
葉の根元付近にL字の
切り込みをいれて
ゆりかごを作る



エゴツルクビオトシブミ
体長(♀)：6～7mm
使う木：エゴノキなど
葉の根元付近にカーブ
した切り込みをいれて
ゆりかごを作る

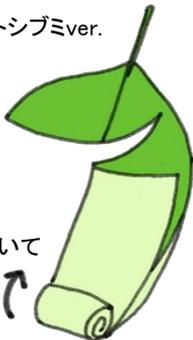
ゆりかごの作り方

切り込みをいれた
あと、半分に折ります



エゴツルクビオトシブミver.

下から巻いて
いきます



葉の縁をきれいに
織り込みながら
円筒形になるよう
に巻いて…



最後に葉を折り返して
とめれば完成！



<カエル合戦2019>

自然観察園の早春の風物詩「カエル合戦」。前号でヤマアカガエルの産卵についてご紹介しましたが、3月9日に研究棟の前の池でアズマヒキガエルの「カエル合戦」が始まり、その後、自然観察園内でも数匹ごとの小規模な「かえる合戦」が3月17日頃まで見られました。10年分の初認記録を見ると、ヤマアカガエルもヒキガエルもほぼ例年通りの産卵時期となりました。

ヤマアカガエルの卵塊は少し水面から出るくらい池の浅いところに産んでありましたが、ヒキガエルのロープ状の卵塊は完全に水に浸かっている、ある程度水深が深いところを好むようです。



ヤマアカガエルとアズマヒキガエル 10年間の初認日

	ヤマアカガエル	ヒキガエル
2019	2/4	3/9
2018	2/4	3/11
2017	1/31	
2016	2/7	3/13
2015	1/27	3/20
2014	1/26	3/19
2013	2/2	3/20
2012	2/8	
2011	2/17	
2010	2/2	2/27

赤字: 鳴き声・交尾を確認
青字: 卵塊を確認

ヤマアカガエルの卵塊(左)
アズマヒキガエルの卵塊(右)



研究棟前の池のおたまじゃくし(5月10日撮影)
一足先に足が生え始めたヒキガエルは5月21日に
一斉に上陸しました!

その他にも、観察園では3月には水がしみ出した谷戸の斜面(N7)でタゴガエルの鳴き声が聞こえ、その後はアマガエル、シュレーゲルアオガエルの鳴き声がにぎやかになりました。



白い泡に包まれたシュレーゲルアオガエルの卵塊(左)
すぐ近くにはすでにおたまじゃくしになったものも(右)
(5月23日撮影)

<さらば冬鳥、こんにちは夏鳥>

春は園内で見られる鳥の入れ替わりの時期です。北の地域や標高の高い地域に移動する直前の冬鳥と南の地域から渡ってきたばかり夏鳥が同時に見られることがあります。冬に見られる鳥たちは5月にも確認され、意外暖くなるまでいるようです。



キビタキのオス2羽の縄張り争い
写真提供: 村上久雄氏(4月25日撮影)

観察園にやってきたばかりの夏鳥はまずは自分の縄張りを確保しなくてははいけません。そのバトルの様子をとらえた写真を来園者の方が激写しました!

2019年冬鳥の最終確認日と夏鳥の初認日 (鳴き声も含む)

最終確認日		初認日	
ルリビタキ	4/6	オオルリ	4/2
ジョウビタキ	5/4	キビタキ	4/16
ツグミ	5/4	コサメビタキ	4/16
アカハラ	5/4	サンコウチョウ	5/19
		ホトトギス	5/23

傷病鳥獣救護の情報

※救護の情報は、ホームページで見られます

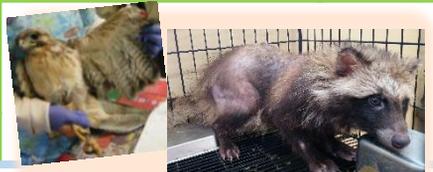
神奈川県 野生動物救護 検索

自然環境保全センター（旧自然保護センター）では、傷病鳥獣の救護業務として、県民の方により持ち込まれた県内の傷ついたり弱ったりした野生動物（鳥類と哺乳類の一部）を収容し、必要に応じて治療やリハビリを行い、野生に戻す業務を昭和53年（1978年）から行っています。この「かわせみ通信」では、持ち込まれた野生動物の「救護原因」や「リハビリ状況」などの情報を掲載しています。

● 平成31年1月～3月の報告 ●

< 受け入れ状況 >

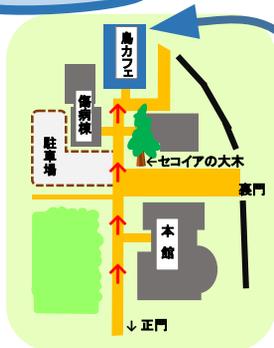
受付件数の多かった上位種			主な救護原因			
			<鳥類>		<哺乳類>	
1位	タヌキ	14件	ガラス窓などへの衝突	14件	疥癬症(かいせんしょう)	11件
2位	ヒヨドリ メジロ	6件	ネコなどに襲われる	6件	毘	1件
3位	キジバト	4件	交通事故	3件	交通事故	0件
4位	ムクドリ スズメ	3件	粘着剤にかかる	3件	誤認保護	0件
5位	ダイサギ	2件	釣り糸(針)や防鳥ネットなどに絡む	1件		
			誤認保護	1件		



< 活動内容 >

- 2/24 ボランティア研修会「野生動物を巡る近年の動向 - 保全の成功と難しさ - 」講師：安藤 元一氏
- 3/24 救護動物特別公開「テーマ：40周年と誤認保護」延べ101名来場
- 3/30 第7回 春の体験教室わくわく生き物探検隊5名参加 ※共催：特定非営利活動法人 野生動物救護の会

●七沢情報● Vol.1 ユリカモメ



当センターの本館を右手に見ながら進んでいくと、こんもりと木々に囲まれた大型ケージ「鳥カフェ」があります。この鳥カフェと呼ばれるケージでは、翼を失い、自然界に戻れなくなった鳥たちが暮らし、その様子を来園者の方々が観察できるようにしています。今回のかわせみ通信では、そこの日々の出来事を紹介します。

※野生復帰を目指してリハビリ中の個体がいる場合は、観察できない場合もあります。ご協力ください。

鳥カフェにいる「ユリカモメ」に会いにきてください

今回は、冬鳥のユリカモメを紹介します。本来は冬鳥なので、なかなか夏の様子を観察する機会がない鳥ですが、なんと、ここでは夏羽に衣装チェンジする過程を観察することができます。ただ、毎日通わない限りじっくり観察することができない夏羽への変化。今回は、野生動物救護ボランティアのYさんにご協力いただき、定期的に記録していただいたものを紙面で大公開！夏羽への変化は毎年観ることができるのですが、いつから変化し始めるのか、またいつ冬羽に戻るのか、詳細は謎のまま。謎多きユリカモメは、全長37～43センチの小さな体で頻繁に動き回り、大きな鳴き声なので存在感があります。



今年もカッコよくチェンジできました！

大切な羽を奪われた!

粘着シートにつかまっさ鳥たち



ネズミ捕りの粘着面に張り付いてしまったヒヨドリ

2008年～2017年の10年間のデータを基に、鳥たちの被害を紹介します。

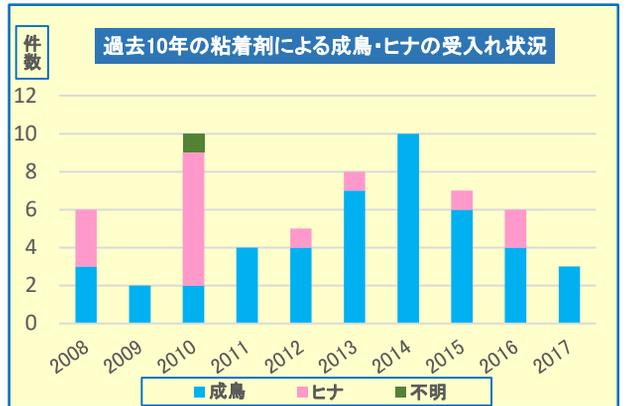
<野鳥にとって恐るべき粘着シート>

本来、ネズミを捕まえるための粘着シート。手軽に購入できることから、幅広く使われていますが、むやみに野外に設置すると、野鳥たちがその強力な粘着剤につかまるといふ被害にあってしまいます。私たちが、粘着シートを使う時に仕掛け方、置き場所を少し考えるだけで、野鳥の被害が少なるかもしれません。

<粘着剤が原因の受入れ状況>

右の表を見ると減少しているように見えますが、粘着剤から野鳥が自力で逃れることは難しく、相談前に死亡してしまう可能性が高いので、全体の被害数を把握することは難しいといえます。

この被害にあった野鳥は、動けば動くほど体中に粘着剤が絡み、体力を消耗したうえに翼や足を痛めやすいため、苦痛を伴いながら死んでしまうことが多いです。運よく受入れたとしても、数日で死亡する事例も多く、放野率は50%という割合です。



<月別の受入れ状況から見えてくる被害>

今の時期、救護される件数が多い傾向にあります。成鳥の件数が多いのは、ヒナのために一生懸命餌を探してうっかり粘着シートに近づいてしまったのかもしれません。親鳥が粘着剤につかまってしまった場合…餌を待っているヒナたちの死につながっている、という可能性もあるのです。



<受け入れ件数全13種>

種名	羽
スズメ	20
ツバメ	13
ハクセキレイ	8
シジュウカラ	5
ヒヨドリ	4
ムクドリ	2
チョウゲンボウ	2
メジロ	1
ツグミ	1
オオルリ	1
ウグイス	1
ハヤブサ	1



スズメ



ツバメ

多い種に着目すると、やはり駆除目的のネズミ同様に人家周辺に生息する野鳥が多いので、仕掛ける時に野鳥への配慮もして欲しいものです。

絶滅危惧種のハヤブサ。この1件が生息数に影響を与えたかも？



お願い

粘着シートを野外に放置しないでください。



- 粘着シートにつかまった野鳥に出会ったら、小麦粉を多量にふりかけて、暗所で安静にしてあげてください。
- 粘着シートから無理にはがそうとしないでください。脱臼、骨折の原因になります。
- まずは、何もせずに至急お電話でご相談ください。

救護受付の詳細については、ホームページでご確認ください。